

報道関係各位

プレスリリース

2026 年 7 月 29 日
株式会社 Liberaware

Liberaware、パーソルクロステクノロジーと ロボティクス社会実装に向けた共創事業を開始 ～「MoRo」プログラム採択を契機に、空間 iPaaS 基盤「LAPIS」を活用した現場 DX を推進～

株式会社 Liberaware（本社：千葉県千葉市、代表取締役：関 弘圭、以下「当社」）は東京都のスタートアップ支援事業「TIB CATAPULT」において発足した、次世代モビリティ・ロボティクス分野の社会実装を加速させるクラスター「.make Mobility&Robotics（以下「MoRo」）」の支援プログラムに採択されました。

これに伴い当社は、自社が提供する空間 iPaaS 基盤「LAPIS」を活用し、パーソルクロステクノロジー株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：正木 慎二、以下「パーソルクロステクノロジー」）との連携によるロボティクスの社会実装に向けた共創事業を本格的に推進いたします。両社の強みを掛け合わせることで、先端技術の現場実装から運用定着までを強力に支援する体制の構築を目指します。



■背景

インフラ、プラント、建設、製造、物流、防災などの現場では、設備の老朽化や熟練技術者の不足を背景に、点検・調査・記録・報告業務の効率化・省人化が急務となっています。

一方で、ロボットやドローン、カメラ、IoT 機器、AI 解析ツールなどの技術導入は進みつつあるものの、取得したデータが個別の機器やシステム内に分断され、現場業務や既存の管理システムと十分に連携できていないケースも少なくありません。そのため、先端技術を導入するだけでなく、取得データを業務に活用できる形でつなぎ、現場に定着させる仕組みが求められています。

当社はこれまで、狭くて、暗くて、危険な屋内空間の点検に特化した小型ドローン「IBIS」シリーズや、取得データを活用した画像解析・デジタルツイン技術を通じて、インフラ点検・維持管理の効率化に取り組んでまいりました。

さらに、空間 iPaaS 基盤「LAPIS」を通じて、ロボット・ドローン等によるデータ取得から、AI 解析、3D 可視化、既存業務システムへの連携までを一気通貫でつなぎ、現場データの活用価値を高める取り組みを進めています。

今回、「MoRo」の支援プログラムに採択されたことを契機に、パーソルクロステクノロジーと連携し、技術と人材の両面からロボティクスの社会実装を支援する共創事業を開始いたします。

■本取り組みの概要

本取り組みでは、当社が提供する空間 iPaaS 基盤「LAPIS」と、パーソルクロステクノロジーが有するエンジニアリング・IT・DX 領域の知見および人材支援力を組み合わせ、ロボティクス技術の社会実装に向けた支援モデルの構築を目指します。

1. 現場データの取得・管理・解析・活用をつなぐ「LAPIS」活用モデルの構築

ロボット、ドローン、カメラ、IoT 機器などから取得される映像・画像・センサーデータ等を、「LAPIS」上で統合・管理し、AI 解析や既存業務システムとの連携に活用するモデルを構築します。

これにより、現場で取得したデータを単なる記録にとどめず、点検結果の可視化、異常検知、報告書作成、業務システムへの連携などに活用できる仕組みづくりを目指します。

2. パーソルクロステクノロジーとの連携による実装支援体制の構築

パーソルクロステクノロジーが有するエンジニアリング、IT、DX、プロジェクト推進に関する知見・人材ネットワークと、当社のロボティクス・空間データ活用技術を組み合わせることで、PoC の企画から現場実装、運用設計、業務定着までを支援する体制の構築を目指します。

特に、ロボットや AI 等の先端技術を現場業務に導入する際には、技術検証だけでなく、業務プロセス整理、現場運用設計、データ活用設計、導入後の運用人材確保が重要となります。両社の連携により、技術と人材の両面から社会実装を支援するモデルを検討してまいります。

3. 業界別ソリューションへの展開

本取り組みで得られた知見をもとに、インフラ、プラント、建設、製造、物流、防災など、幅広い産業分野に向けた「LAPIS」活用ソリューションを展開してまいります。

■今後の展開

今後、当社は、MoRo、パーソルクロステクノロジー、関係パートナーと連携し、ロボティクス技術の社会実装に向けた PoC および事業化検討を進めてまいります。

まずは、各産業現場における具体的な業務課題を整理し、データ取得から管理・解析・活用までのプロセスを設計したうえで、「LAPIS」を活用した実証モデルの構築を進めます。

そのうえで、現場実装に必要な運用設計、既存業務との連携、人材活用モデルを具体化し、先端技術を現場で継続的に活用できる支援体制の確立を目指してまいります。将来的には、ロボティクス技術と空間データ活用を組み合わせた新たな現場 DX サービスとして、幅広い産業分野への展開を図ってまいります。

■株式会社 Liberaware コメント

当社は、屋内・狭小空間・非 GPS 環境におけるドローン技術や画像解析技術を強みに、インフラ点検・維持管理領域の効率化に取り組んでまいりました。

今後は、空間 iPaaS 基盤「LAPIS」を通じて、ロボットやドローンが取得した現場データを、AI 解析や既存業務システムとつなぎ、現場業務全体の高度化・省人化に貢献してまいります。

今回の MoRo プログラム採択およびパーソルクロステクノロジーとの連携を通じて、技術と人材の両面からロボティクスの社会実装を加速し、誰もが安全な社会の実現に向けた取り組みを推進してまいります。

■ パーソルクロステクノロジー株式会社 コメント

パーソルクロステクノロジーは、ものづくり、IT、DX 領域における技術支援・人材支援を通じて、さまざまな産業の課題解決に取り組んでまいりました。

ロボットやドローン、AI 等の先端技術を現場に導入するためには、技術そのものの有用性だけでなく、現場業務への適用、運用設計、データ活用、導入後の定着までを見据えた実装支援が重要です。

Liberaware が展開する空間 iPaaS 基盤「LAPIS」は、ロボット・ドローン等で取得した現場データを、AI 解析や既存業務システムと連携させ、現場業務に活用できる形へとつなぐ基盤であり、当社が有するエンジニアリング・IT・DX 支援の知見と高い親和性があると考えています。

本取り組みを通じて、Liberaware とともに、ロボティクス技術の社会実装を支援し、インフラ、プラント、建設、製造など幅広い現場における業務効率化・省人化・安全性向上に貢献してまいります。

■ MoRo 事務局（合同会社 DMM.com） コメント

MoRo は、次世代モビリティ・ロボティクス分野におけるスタートアップの社会実装を加速することを目的に、企業・団体との協働、PoC 機会の創出、事業化支援等に取り組んでいます。

このたび、屋内・狭小空間・非 GPS 環境におけるドローン技術や画像解析・空間データ活用技術を有する Liberaware 様を、MoRo の支援対象スタートアップとして採択できたことを大変嬉しく思います。

インフラ、プラント、建設、製造、防災などの現場では、人手不足や熟練技術者の減少を背景に、ロボットや AI を活用した現場業務の省人化・高度化が求められています。一方で、取得したデータを業務に活用し、現場で実際に使える形へと落とし込むためには、技術・人材・運用の各面での連携が不可欠です。

Liberaware 様が展開する空間 iPaaS 基盤「LAPIS」と、パーソルクロステクノロジー様が有するエンジニアリング・DX 支援の知見が連携することで、ロボティクス技術の社会実装に向けた新たなモデルが創出されることを期待しています。

MoRo としても、本取り組みを通じて、次世代モビリティ・ロボティクス分野における実証・事業化を支援し、産業現場の課題解決と新たな価値創出に貢献してまいります。

■ 「LAPIS」について

「LAPIS」は、設備保全におけるデータの取得・可視化・解析・表示をシームレスに繋ぐ空間 iPaaS（※1）です。

※1 空間 iPaaS：「Integration Platform as a Service」の略称であり、デジタル空間（3D データ、点群データ、BIM など）におけるロボット・ドローン・カメラなどのデバイスや各種ソフトウェアを一元的に繋ぐためのクラウド型データ連携基盤を指す。

プレスリリース：<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000165.000031759.html>

■ MoRo（.make Mobility & Robotics）について

DMM が創成したクラスター「MoRo」は、次世代モビリティ・ロボティクス分野における社会実装を加速させることを目的としており、東京都のスタートアップ支援事業「TIB CATAPULT」にも採択されています。

複数の企業・団体が集結し、それぞれが蓄積してきた知見や技術をつなぎ、共創を通じて、くらしや産業現場で「実際に使える」ソリューションを生み出します。（運営事務局：合同会社 DMM.com）

公式サイト：<https://akiba.dmm.com/moro>



■TIB CATAPULT について

東京都では、都が運営するイノベーション拠点「Tokyo Innovation Base」（TIB）を起点に、成長可能性が高い技術や産業の分野を集中的に支援するため、令和 6 年度から「グローバルイノベーションに挑戦するクラスター創成事業（通称「TIB CATAPULT」）」を実施しています。この事業は、大企業や投資家など複数の事業者による共同体「イノベーションクラスター」が、それぞれの強みを生かして、グローバルなスタートアップを育てていくことを支援するものです。

公式サイト：<https://tibcatapult.metro.tokyo.lg.jp/>

▼パーソルクロステクノロジー株式会社について

パーソルクロステクノロジー株式会社では、自動車・航空宇宙・産業機器・家電・ロボットといったものづくり領域、コンサルティングから設計・開発まで横断的なソリューションを提供する IT 領域、そして診断、運用、IoT を含むセキュリティ領域などにおいて、専門的な技術を持ったエンジニアが、あらゆる業界でお客様の技術支援をしています。私たちは、「尖った技術」の力で人と組織のはたらき方に変革を起こすことで社会課題を解決してまいります。

会 社 名：パーソルクロステクノロジー株式会社

代 表 者：代表取締役社長 正木 慎二

所 在 地：東京都新宿区西新宿 2-1-1 新宿三井ビルディング 51F

事業内容：テクノロジーソリューション事業

U R L：<https://persol-xtech.co.jp/>



パーソルクロステクノロジー

▼合同会社 DMM.com について

会員数 6,012 万人（※）を誇る総合サービスサイト「DMM.com」を運営。1998 年の創業以来、多岐にわたる事業を展開し、現在は 60 以上のサービスを運営。動画配信や電子書籍、アニメなどの多様なエンタメサービスに加え、3D プリントや EV 充電などのハードウェア分野、AI といった最先端のテクノロジーを取り入れた事業など、様々な事業を手掛けています。2022 年にはサブスクリプション会員システムの「DMM プレミアム」を立ち上げ、あらゆるエンタメ体験をシームレスにつなぐ「マルチエンタメ・プラットフォーム」の創造を目指しています。今後も、コーポレートメッセージ「誰もが見たくなる未来。」とともに、変化と進化を繰り返しながら、新たな事業に挑戦してまいります。

※2026 年 2 月時点

- ・企業サイト：<https://dmm-corp.com/>
- ・プレスキット：<https://dmm-corp.com/presskit/>
- ・公式オウンドメディア：<https://inside.dmm.com/>

DMM.com

▼株式会社 Liberaware について

株式会社 Liberaware は、「誰もが安全な社会を作る」をミッションに掲げ、世界でも珍しい「狭くて、暗くて、危険な」かつ「屋内空間」の点検・計測に特化した世界最小級のドローン開発と、当該ドローンで収集した画像データを解析し顧客に提供するインフラ点検・維持管理ソリューションを行っております。弊社は、ビジョンでもある「見えないリスクを可視化する」ことに邁進し続け、人々に安全で平和な社会をお届けします。

会 社 名：株式会社 Liberaware（リベラウェア）

代 表 者：関弘圭（ミン・ホンキュ）

所 在 地：千葉県千葉市中央区中央 3-3-1

設 立：2016 年 8 月 22 日

事業内容：

- ・ドローン事業：ドローン等を用いた調査・点検・測量サービス、自社開発のドローン等の販売・レンタルサービス
- ・デジタルツイン事業：ドローン等により取得したデータの画像処理、データ解析サービス、及び当社画像処理技術のライセンス提供
- ・ソリューション開発事業：ハードウェアからソフトウェアまで幅広いソリューションを提供する受託開発事業

U R L：<https://liberaware.co.jp/>

X アカウント：<https://x.com/liberaware>

〈本件に関するお問い合わせ先〉

株式会社 Liberaware 広報：前

TEL：090-9019-9057 / 043-497-5740 MAIL:pr@liberaware.com